

当科では、日本における HIV 感染症治療の向上のため、以下の臨床研究を行っています。

## ■臨床研究 HIV 感染者の日和見感染症・合併症に関する研究

### 【研究概要】

#### ■試験名 HIV 感染者の日和見感染症・合併症に関する研究

#### ■目的

ヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency virus, HIV) は細胞性免疫の障害をもたらし、日和見感染症や悪性腫瘍などを合併することが知られている。HIV に対する抗ウイルス療法が確立した現代においても、HIV 感染症の診断が遅れて AIDS を発症し受診する症例も多く、日和見感染症や HIV に関係する悪性腫瘍や合併症の管理は HIV 診療において大きな課題となっている。日和見感染症の中には進行性多巣性白質脳症のように治療が確立していない疾患もあり、適切な治療の方針が定まっていない疾患も多く見受けられる。これらの疾患は比較的まれな疾患が多く、症例の蓄積が不十分であることが原因の一つと考えられる。当科で診療を行った HIV 感染者の日和見感染症や合併症の現状について調査をすることで、現状の問題点や治療に関する有益な情報が得られるものと考えられる。

#### ■研究対象症例

2013 年 1 月より 2014 年 6 月の間に東京医科大学病院通院した HIV 感染者。症例数は約 1,100 名。

#### ■研究対象疾患

エイズ指標疾患を対象とし、診療録を参照し、患者背景（年齢・性別・既往歴・入院歴）、臨床症状、治療内容、主要臨床検査結果（血算・生化学・CD4 陽性リンパ球数・細菌検査・核酸増幅法など）、臨床経過、画像検査結果について集計し検討する。

#### ■目標研究対象症例数と研究実施期間

目標研究対象症例数： 約 1,100 例

研究実施期間：倫理委員会承認後より 2015 年 6 月 30 日まで

#### ■研究代表者

村松 崇（東京医科大学病院 臨床検査医学分野）

#### ■研究事務局

東京医科大学病院 臨床検査医学科

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-7-1

Tel 03-3342-6111 内線 5086